

## 自主作成映画上映会

### 【作品介绍】

題 名：『血筋』（英題：Indelible/韓国題：핏줄）

・自身初監督作品、東アジア最大級のドキュメンタリー映画祭へ出品

作品あらすじ：

主人公である少年は、中国朝鮮族自治州・延吉（えんきつ）に生まれ、10歳のときに日本へ移住した。20歳を迎えた少年は、自分の過去を振り返るため、画家だった父を探すことを決意する。故郷である延吉を訪ね、伯父や祖父母に父の行方を尋ねるが誰も連絡先を知らず、さらに父の話題に対してあまり良い顔をしない。なんとか伯父の助けを借りて、父が韓国にいることを突き止め、18年ぶりに韓国で再会を果たした。父親は不法滞在の日雇い労働者として生計を立て、借金取りに追われる日々を送っていた。そのような状況でも、父としての虚栄心と自己満足的な愛情を「お金」という形で表現しようとする父に、息子は辟易してしまう。それでも、ファインダ越しの被写体として「父」を冷徹に見つめることで、現実を映画へ置き換えて父と向き合おうとするが…。中国の歴史に翻弄されながら生き延びた朝鮮族にとって、貧しかった過去の記憶がもたらすものは、物質的な豊かさへの渴望と強烈な劣等感。そして豊さの象徴である「コリアンドリーム」を求め、家族と離れて韓国へと出稼ぎに行く彼らの価値観は、親と子の間で微妙にずれながらも確実に受け継がれていくのであった。とある父と子、そしてそれぞれの人間模様を通して延吉の人々の「今」を描く。

### 監督紹介

角田龍一（京都市在住、高校卒業生）

略歴

2012年3月	尚綱学院高校（特進コース）	卒業
2013年4月	新潟県立大学	入学
2016年	自主映画制作開始	
2017年3月	大学卒業	

映画監督、助監督、映像作家、ライターなど務めながら全国で上映会開催中

2017年には富名てつや監督映画「blue window blows」で助監督を務め、ベルリン映画祭正式招待が決まり渡独した。